

番号	感染症	出典	概要
178	クロイツフェルト・ヤコブ病	米国規制当局発表 2003/12/24	ワシントン州のホルスタイン雌牛についてBSEが疑われる旨を発表した
179	クロイツフェルト・ヤコブ病	読売新聞2003年12月18日	輸血でvCJDが感染する可能性があることが示唆された。
180	コロナウイルス	Nature Medicine, vol. 10 (4), 368-373	4番目のコロナウイルスとして、HCoV-NK63が同定された。呼吸器疾患に罹患した患者からHCoV-NL63が検出された。
181	サイトメガロウイルス感染	Vox Sanguinis 2004; 86: 41-44	CMV感染は通常、健全な免疫システムを持つ人において、微細で時には、無症候性の病状を発現させる。しかし、免疫障害の患者では多大なリスクが示される。健全な供血者であっても、提供時に無症候性のCMV一次感染症に罹っていることがあるので、血液製剤から完全にCMV感染を排除するのは難しい。著者は、CMVの一次感染頻度を測定するためのアルゴリズムを開発し、一年あたりのセロコンバージョン率は0.55%だった。
182	サルモネラ症	Emerging Infectious Diseases 2004; 10 (1): 60-68	台湾でヒトとブタからのサルモネラ菌を分離し調査したところ、共通した遺伝子型を持つ菌にシプロフロキサシン耐性、さらに多剤耐性があることがわかり、ブタがヒトへの感染源となりうることを示唆する。
183	ジフテリア	PromED 9/27, 2003 (Times of India 9/17, 2003)	インドで、最近2週間にジフテリアに非常によく似た病態を呈する原因不明の疾患の患者6名が発生、そのうち1名が死亡した。
184	重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
185	重症急性呼吸器症候群	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 17 (6), 11	中国におけるSARS患者9例についてのサマリー。
186	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
187	重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
188	重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
189	デング熱	British Medical Journal 2003; 327 (7428): 1368	デング熱は周期的に流行する傾向がある。また、近年は発生地域も拡大する傾向がある。2004年にはデング熱の大流行が起こると予想する国は多い。
190	デング熱	PromED 2/18, 2004 (Channel News Asia- Singapore 2/16)	シンガポール、スリランカ、インドネシア、中国及びオーストラリアでデング熱が大流行している。特にインドネシアでは、数千名が感染し、17名が死亡した。

番号	感染症	出典	概要
191	デング熱	ProMED-mail 10/8, 2003 (HK Dept of Health 10/7, 2003 Press Release)	中国香港で、衛生署と食品環境衛生署は本年初のデング熱の地域内感染確定例(26歳・男性)を確認、予防措置を取るよう警告した。
192	デング熱 ウイルス 感染	Britissh Medical Journal, 2003; 327(7428): 1368-e	アジア各国におけるデング熱の流行について。適切に治療すれば致死率は1%以下である。医療制度の質と医療従事者の経験や潜在的な危険の認識に左右される。
193	デング熱 ウイルス 感染	ProMED 02/18, 2004	アジア各国におけるデング熱の流行状況の続報。
194	トリコス ポロン感 染	J Mycol Med 2003; 13: 155-6	Trichosporon mucoidesが糖尿病患者の尿から分離された。本菌は表在性感染として検出されるが、時々、免疫能が低下した全身性感染症にも見られる。本症例は尿路感染に関連した最初の報告である。
195	パストレ ラ菌性敗 血症	Scandinavian Journal of Infections Diseases 2003; 35(8): 512-4	イスラエルで78歳の灼熱感、排尿困難を訴えた男性患者の尿からパストレラ菌が検出された。患者は飼犬に噛まれたことはなく、動物によるスクラッチや咬傷はなかった。
196	バベシア 症	日本輸血学会雑誌, 50(2):, 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
197	バベシア 症	Transfusion, 2003, Vol. 43 (Sep. Supplement), S44-030H	米国において、Babesia microtiがゲインとなる輸血後バベシア症が40症例以上報告されている。(日本でも海外渡航歴の無い献血者からの血液による、輸血後感染事例が1例ある1999年)
198	バルボウ ウイルス感 染	Complementary Medicines Evaluation Committee (CMEC) Public Recommendation Summary Meeting 43, 2003/11/28	オーストラリア代替医療評価委員会(CMEC)は、ブタ由来の膀胱酵素抽出物を含む製品は、登録代替医薬品の材料としての使用に適しており、ブタバルボウイルス(PPV)の感染性を減らすのに適切な方法や要件導入の時期について、TGA(Therapeutic Goods Administration)が企業に意見を求めること、PPV不活化のバリデーションを行うことなどを勧告した。
199	バルボウ ウイルス感 染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2004; 350(6): 586-97	バルボウイルスB19感染の臨床的症状は感染者の免疫状態等によって様々である。15歳の若年者の半数は特定の抗バルボウイルスB19抗体を保持している。老年期にはほとんどの人は血清反応陽性となる。ウイルスは呼吸器からの飛沫により拡散され、家庭内での二次感染は非常に高い。脂質エンベロープの欠如と遺伝子的安定性が、バルボウイルスの熱および界面活性剤による不活性化を不可能としている。
200	バンコマ イシン耐 性腸球菌 感染	Animal Science Journal (2003) 74, 521-523	日本の4ヶ所の養豚場から種々の年齢群のブタ糞について調査を行った。京都の1養豚場の離乳ブタおよび成長ブタの糞から40株のバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)を単離した。日本のブタのVRE汚染に関する最初の報告
201	ハンタウ ウイルス感 染	Journal of Clinical Microbiology 2003; 41(10): 4894-7	ドイツでヨーロッパに広く分布するハタネズミによって媒介されるハンタウイルス属ソウラ種の感染により腎症候性出血熱と肺炎を併発した初めての症例の報告。
202	ヒト免疫 不全ウイ ルス	毎日新聞2003/12/29	HIVに感染した献血者の血液が、NAT試験をすり抜けて出荷され、この血液を輸血された患者がHIVに感染した症例

番号	感染症	出典	概要
203	ブルセラ症	ProMED 12/17, 2003 (Animal Agriculture website 12/12, 2003), ProMED 1/11, 2004 (Denver Post, Denver CO, 米国 1/10), Pro MED 1/25, 2004 (CBC Canada 1/23)	Wyoming州西部で飼育されているウシの群で、ブルセラ症が確認された。野生のヘラジカ群から由来したのではと疑っている。
204	ブルセラ症	ProMED 3/20, 2004 (The Scotsman 3/18) 他	イギリスでウシのブルセラ症の流行により、近隣の農場 8ヶ所において移動制限が実施された。
205	ヘルペスウイルス感染	Transfusion 2003; 43 (12): 1764-5	ブラジルで供血者におけるヒトヘルペスウイルス8型 (HHV-8) の抗体検査及びDNA測定を行った結果、HHV-8が輸血により伝播する可能性が示唆された。
206	マイコプラズマ感染	Rheumatol Int 2003; 23: 211-5	慢性疲労症候群及び線維筋痛症候群の血液をPCRで測定した結果、約50%にマイコプラズマ感染が確認された。これは健康人のマイコプラズマ感染率約10%と比べ、高率であった。
207	マラリア	CDC MMWR, 11/7, 2003/52 (44): 1075-6	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。
208	マラリア	CDC MMWR, 9/26, 2003/52 (38): 908-11	米国フロリダ州で2003年7-8月で、7名のマラリア感染者が確認された。感染者はいずれも過去のマラリア感染歴もなく、最近に輸血、移植、薬物静脈注射の投与経験もなかった。6名は感染地域への渡航歴がなく、1名は2年前にコロンビアから移住した者だが、前居地はマラリア感染区域ではなかった。7名のマラリア原虫のDNAは一致した。
209	マラリア	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/14, 2003	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。
210	マラリア	Morbidity and Mortality Weekly Report, 2003, 52 (44), 1075-6	輸血 (PRBCs) によるマラリア感染の報告
211	リーシュマニア症	AABB Association Bulletin #03-14, 2003, 10/10	BPACは全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
212	リーシュマニア症	AABB Weekly Report, 2003; 9 (44): 3	BPAC (Blood Product Advisory Committee) は全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
213	リーシュマニア症	ABC Newsletter 1/2, 2004	FDAはイラク以外のリーシュマニア流行地域からの渡航者及び移民の供血延期措置は不要とし、措置の適応をイラクに限定した。
214	リューシュマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004; 189; 1018-23	リューシュマニア症治療後の患者について、瘢痕からリューシュマニアに特異的なDNAが検出された。
215	レトロウイルス感染	Transfusion 2002; 42 (7), 886-891	サル泡沫状ウイルス (SFV) 感染者からの輸血を受けた4事例について、感染伝播は確認されなかった。

番号	感染症	出典	概要
216	レトロウイルス感染症	ProMED 3/20, 2004 (The Times newspaper英国 3/19, 2004)	カメルーンではゴリラ、マンドリル、グエノンといった3種類の宿主からサル泡沫状ウイルス (SFV) がヒトに感染していることを確認した。
217	レプトスピラ	Vector Borne Zoonotic Diseases3 (3) :141-147, 2003	米国テキサス州の屠殺場のウシから得た血清1193検体および尿300検体について調査した結果、レプトスピラ感染症が高率で陽性を示した。
218	レンサ球菌性髄膜炎	感染症学雑誌 2003; 77 (5) : 340-2	ブタ由来と思われる連鎖球菌による化膿性髄膜炎の発症例の報告。
219	レンサ球菌性敗血症	International Journal of Hygiene and Environmental Health 2002: 205: 385-92	ブタを輸送した36歳のトラック運転手にストレプトコッカス・スイスII型による敗血症性ショックが起こった。ブタ関係業者の132名の労働者に咽頭検査等を実施したところ、ストレプトコッカス・スイスの定着率は5.3%であった。
220	レンサ球菌性敗血症	Transfusion 2003; 43 (9s) : SP7, Special Abstract Supplement 56th Annual Meeting	米国でB群レンサ球菌による輸血後敗血症が2例報告された。1例はフェレンシス血小板輸血後に死亡、使用製剤及び患者血液を培養した結果、B型レンサ球菌を検出した。他の1例は治癒したが、輸血に用いた血小板製剤5バッグ中、2バッグからB型レンサ球菌を認めた。
221	レンサ球菌性敗血症	Lijecnicki Vjesnik 2003; 125: 134-7	クロアチアで自宅でブタを処理したことにより、感染したと思われるストレプトコッカス・スイスI型患者が2例発生した。
222	レンサ球菌性肺炎	Transfusion, 2003, Vol. 43 (9s), SP7	米国において発生した、B群連鎖球菌による輸血後敗血症性血小板輸血反応を起こした症例2例の報告。(日赤は輸血用血液製剤中の最近の検出方法及び感染性因子の不活化について検討中)
223	ロスリバーウイルス感染	ProMED 10/8, 2003 (Bunbury Mail 10/8, 2003)	ロスリバーウイルスは、ヒト蚊間の感染サイクルが成立する南オーストラリアに限定された感染症であり、その潜伏期間は2~21日である。
224	該当無し	Science Vol303 2004. 02. 20	バングラデシュで起きたニバ(様)ウイルス感染の流行について。今回の流行で始めてウイルス分離ができたので、CDCがニバかどうか判別するだろう。治療法は無く、ワクチンは開発段階にある。
225	該当無し	The pediatric Infectious Disease Journal, Vol. 22, No. 12 Dec 2003: 1093-6	サル痘(天然痘に似ているがより軽症)に感染した小児の事例について。アフリカから米国へ輸入された小型哺乳類からイヌに感染し、さらに小児へ感染した。アフリカでの前例2例と同様の所見であった。
226	気道感染	ProMED 2/7, 2004 (XinhuaNet.com 2/5, 2004)	90名のネパール人が原因不明の疾患に罹患。この疾患の症状は、呼吸困難、発熱、めまい、倦怠感、咳そうである。
227	狂犬病	Journal of American Veterinary Medical Association223 (12) :1736-1748, 2003	2002年の米国及びプエルトリコにおけるヒト及び動物の狂犬病の発生数の状況報告。特に、狂犬病を発症したウシの数は増加していた
228	狂犬病	ProMED 10/21, 2003 (Infectious and Parasitic diseases news 10/18, 2003)	2003年1~9月の期間に、ロシアで動物での狂犬病症例20頭が確認された
229	狂犬病	ProMED 4/14, 2004 (Ragions. Ru 4/10, 2004)	ロシアのStavropol地域で動物での狂犬病症例数が倍増したとの報告

番号	感染症	出典	概要
230	狂犬病	ProMED-mail 9/12, 2003 (China Daily 9/3, 2003)	中国で狂犬病による死亡数が増加の一途にあり、2003年前半では、2002年同期比90名増の550名に達した。
231	結核	Int. J. Syst. Evol. Microbiol. 55 (5), 2003, 1305-14	アザラシから分離されたウシ及びヒトへの病原性を持つ新しい結核菌についての報告
232	結核	ProMED 10/22, 2003 (scotsman.com 10/21, 2003)	スコットランドでウシ型結核の流行。
233	結核	ProMED 12/8, 2003 (Canadian Press 12/1, 2003)	カナダManitoba州で飼育されていたウシ2群が、群内の個体それぞれ1頭が結核症検査陽性となったため、隔離されている。
234	結核	ProMED 2/17, 2004 (Reuters 2/11)	イギリスのDevon で飼育されているウシの群約6分の1でウシ結核症流行が発生している。
235	口蹄疫	Journal of Virology 77 (24), 13017-13027, 2003 12	口蹄疫ウイルスの宿主域や毒性には、3Aや3Bという非構造蛋白質が関与していたことが判明した。
236	高熱	ProMED 12/4, 2003 (Tyumenskaya 12/1, 2003)	ロシア・ハンティマンシ自治管区において、住民80名が原因不明の感染症に罹患した。症状は高熱、咽頭痛、消耗性の咳嗽である。
237	細菌感染	AABB Association Bulletin #03-12, 2003, 10/1	米国血液銀行協会の血小板製剤ガイダンス。血小板製剤の細菌汚染は0.1~0.3%の頻度で発生する。この問題に対して採血時における初血除去や汚染製剤を同定し、使用を回避する等の対策が示された。
238	細菌感染	aaBB Weekly Report, 2004. 2. 13	血小板製剤中の最近汚染検出のためのガイダンスをaaBBが発行する(2004. 03. 01)。
239	重症急性呼吸器症候群	IASR 2003; 24 (12) (CDC MMWR, 10/17, 2003/52 (41): 986-7)	中国で動物取引業者と対照群のSARSコロナウイルスIgG抗体の血清保有状況を比較した結果、動物取引業者の抗体陽性率が13%に対し対照群は1~3%であり、SARSが人畜共通感染症であることが示唆された。
240	重症急性呼吸器症候群	Journal of Clinical Microbiology, Jan. 2004, 347-350	SARSコロナウイルスのウイルス量はreal-timePCRにより、感染初期(1週間)の患者血液から測定できる。
241	重症急性呼吸器症候群	ProMED 1/9, 2004 (NY Times & 中国衛生部 SARS website 1/8, 2004)	SARSの感染流行状況報告
242	重症急性呼吸器症候群	THE LANCET 2003; vol. 362, August 30, 714	カナダ・ブリティッシュコロンビア州で、2003年7月以降にSARSの流行の疑いがあったが、調査の結果、SARSウイルスとは違うコロナウイルスの他の型であろうと推測されている。
243	重症急性呼吸器症候群	U. S. Department of Health and Human Services Food and Drug Administration Center for Biologics Evaluation and Research 2003/9/16	FDAは業界向けガイダンスとして、SARSの擬似感染やSARSへの暴露発生した場合のドナー適正評価及び血液製剤の安全性評価に関する勧告を公表した

番号	感染症	出典	概要
244	重症急性 呼吸器症 候群	WHO HP 9/10 2003, 11/17 2003, 1/5 2004, 1/17 2004, 1/27 2004, 1/31 2004,	WHOにおけるSARS終息宣言後に報告された症例
245	重症急性 呼吸器症 候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例（35歳・男性）も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
246	重症急性 呼吸器症 候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/5, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
247	人畜共通 感染症	Cell Transplantation, vol. 13 137-143, 2004	ブタ群島細胞由来のブタ内因性レトロウイルス (PERV) がin vivoにおいてヒトの細胞に感染した（5匹中3匹）。またヒト血清が感染を防いでいるので、異種反応性自然抗体がPERVの感染を防ぐことが示唆された。
248	人畜共通 感染症	Jpn. J. Vet. Res. 51 (1) :3- 8, 2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
249	人畜共通 感染症	Veterinary Microbiology 84 (2002) 275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス (BLV) とウシ免疫不全ウイルス (BIV) の垂直感染について調査している。
250	人畜共通 感染症 (サル 痘)	Pediatric Infectious Disease Journal 2003; 22 (12) : 1093-6	アフリカの一部に限局されていたサル痘ウイルス病が米国で発症した。感染源は、アフリカから輸入した小型のほ乳類とともに飼育されていたブレイリードッグであった。
251	大腸菌性 胃腸炎	Emerging Infectious Diseases 2003, 9 (12) p1592-1597	ウサギが、腸管出血性大腸菌の保有宿主であることが確認された
252	炭疽	ProMED 1/14, 2004 (Xinhuanet 1/12)	ザンビアで炭疽による死亡患者10名が発生。死亡した10名は炭疽に感染したウシの肉を食べて発病した。
253	炭疽	ProMED 1/30, 2004 (Saskatoon Leader Post 1/28)	カナダSaskatchewan州で炭疽感染確認
254	炭疽	ProMED 10/25, 2003 (Panafican News Agency Daily Newswire 10/24, 2003)	ジンバブエ北部での炭疽流行の報告。ヒトと動物両方で症例が発生した。
255	炭疽	ProMED 10/31, 2003 (IPPmedia.com 10/28, 2003)	タンザニアで炭疽の疑いで6名が入院。汚染が疑われる肉の摂取が原因と考えられている。
256	炭疽	ProMED 12/6, 2003 (Regions. RUTHENIUM 12/5, 2003)	52歳の女性が炭疽と診断された。汚染された肉の摂取が原因と考えられる。
257	炭疽	ProMED 2/17, 2004 (The Herald 2/16 2004) 他	ジンバブエで炭疽流行の報告。大部分の患者がウシを食べて炭疽に罹患した。

番号	感染症	出典	概要
258	炭疽	ProMED 2/5, 2004 (ITAR-TASS 2/4, 2004) 他	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。
259	炭疽	ProMED 3/18, 2004 (ABC Online, Australia 3/16) 他	オーストラリアでウシの炭疽による死亡症例
260	炭疽	ProMED 3/30, 2004 (The Hindu 3/19)	インドでウシが炭疽で死亡したことの報告
261	炭疽	ProMED-mail 2/4, 2004 (ITAR-TASS)	ロシア・Ulyanovsk地域、Sengiley市で生後7ヶ月のブタから炭疽菌が確認、このブタと接触のあった4名が入院したが、新たに1名の男性患者が炭疽の疑いで入院したことが確認された。
262	痘瘡	CDC MMWR, 2/13, 2004/53 (5) : 103-105	天然痘ワクチンの予防接種を受けた軍人から、その配偶者等に二次感染が見られた。
263	痘瘡	JAMA 2004; 291 (6) : 725-727	ワクシニアウイルスに二次感染した母親から、皮膚と皮膚もしくは皮膚と粘膜の直接的接触を通して授乳中の乳児に感染した初の症例
264	日本脳炎	日本ウイルス学会第51回 学術集会・総会 (2003. 10. 27, 28, 29)	日本各地のウマの日本脳炎ウイルス (JEV) NS1保有状況を調査し、JEV自然感染率を推定したところ比較的高い頻度でJEVの暴露を受けていることが明らかになった。
265	脳炎	ProMED 10/13, 2003 (Nwesday 10/12, 2003)	米国ニューヨーク市スタテンアイランド地区住民の4名が原因不明の脳炎で重症入院中。SARSは除外、WNV検査陰性で、今後とも検査等を実施する。
266	発熱 (不明)	ProMED 9/20, 2003 (NDTV.com 9/20, 2003 & GIDEON 9/19, 2003)	インドで過去3年間モンスーンの季節に原因不明の感染症で総数60名以上が死亡、専門家が調査に取り組んでいる。地元医師は、紅斑熱もしくは発疹チフスを疑っている。
267	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報) 2004 (13)	風疹の定点あたり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い
268	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報) 2004 (14)	患者の年齢群を過去5年間の報告と比較すると、本年は昨年までに比べて、10~14歳および20歳以上の割合が大きくなっている。
269	風疹	Infection Diseases Weekly Report JAPAN (感染症週報) 2004 (15)	風疹の報告数の週報
270	麻疹	ProMED 2/20, 2004 (Hindustani Times 2/20, 2004&Pakistan Times online 2/22, 2004)	インドで原因不明の疾患で小児が7人死亡。症状は麻疹に類似している。